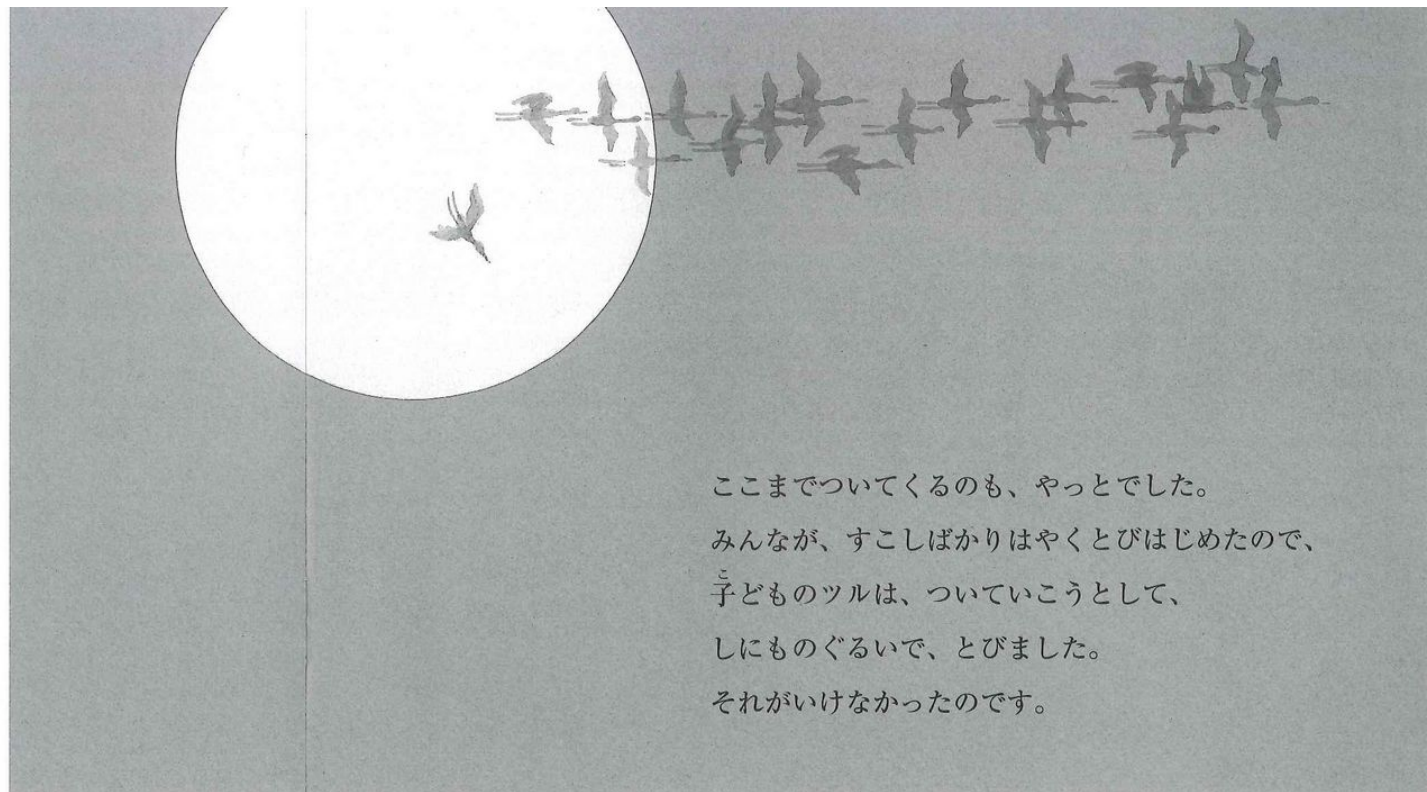


するとそのとき、いちばんうしろからとんでいた、  
小さな子どものツルが、下へ下へと、おちはじめました。  
子どものツルは、みんなに、ないしょにしていたが、  
びょうきだったのです。



ここまでついてくるのも、やっとでした。  
みんなが、すこしばかりはやくとびはじめたので、  
子どものツルは、ついていこうとして、  
しにものぐるいで、とびました。  
それがいけなかったのです。